

# 令和元年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

## 北茨城市 解説

組	番	氏名
---	---	----

番号	解 説	答
1	北茨城市の花に指定されている花は、 <b>シャクナゲ</b> です。シャクナゲは、ツツジ科の常緑の灌木(かんぼく)で、花園のシャクナゲ群生地は県の天然記念物に指定されています。花は観賞用として広く親しまれており、人の心にあこがれや清楚を感じさせます。	3
2	<b>岡倉天心(おかくら てんしん)</b> は、1862年(文久2年)12月26日に横浜に生まれました。その名は後に覚三に改められます。天心が師事した外国人教師フェノロサが東洋美術に大きな関心をよせたのに触発され、日本美術に専念するようになります。	4
3	2019年(令和元年)6月1日現在の北茨城市の人口は、 <b>42,255人</b> 、そのうち男性は21,016人、女性は21,239人です。地区別では多い順に中郷(なかごう)町、磯原(いそはら)町、大津(おおつ)町、華川(はなかわ)町、関本(せきもと)町、関南(せきなみ)町、平潟(ひらかた)町となっています。	1
4	北茨城市と <b>長野県中野市</b> は1980年(昭和55年)に姉妹都市の提携をしました。2020年(令和2年)には姉妹都市の締結をしてから40周年となります。	2
5	<b>歴史民俗資料館</b> (野口雨情(のぐち うじょう)記念館)は2019年(平成31年)4月21日にリニューアルオープンをしました。この資料館は北茨城市に生まれ日本三大童謡詩人の一人とされる野口雨情(のぐち うじょう)の偉業を顕彰し後世に伝えるために開館され、北茨城市の特色を示す民俗、文化財あるいは歴史の流れを裏づける遺物、文書等の歴史資料を保存展示しています。	4
6	常陸大津の御船祭(おふねまつり)は <b>5年</b> に一度、大津町で開催されます。神輿(みこし)を乗せた船が船体を左右に揺らしながら町中を練り歩きます。	2
7	<b>栄蔵室(えいぞうむろ)</b> は北茨城市にある山です。 <b>栄蔵室(えいぞうむろ)</b> という名称は、その昔に栄蔵という名の猟師がこの山に小屋(室)をかけて獲物を追ったところからきたとされています。標高882メートルの山頂に一等三角点があり、筑波山(877メートル)より高い県内では単独最高峰の山として知られています。	3
8	<b>石岡第一発電所施設</b> は、近代日本有数の銅山として知られる日立鉱山を代表する遺構の一つとして、産業技術史上価値が高く、また、施設を構成する本館、橋梁(きょうりょう)等の類型を異にする構造物全般にわたり鉄筋コンクリート技術を用いたわが国で最初の発電所施設であり、中でも本館はわが国に現存する最古級の鉄筋コンクリート造建築物として貴重です。	1
9	「この道」は北原白秋(きたはら はくしゅう)が作詩した童謡です。野口雨情(のぐち うじょう)は、1882年(明治15年)多賀郡磯原町(現在の北茨城市)に生まれ、北原白秋、西條八十(さいじょう やそ)とともに童謡界の三大詩人といわれ、「七つの子」「シャボン玉」「赤い靴」などの童謡の詩を残しました。	2
10	<b>1956年(昭和31年)</b> 3月31日、多賀郡磯原(いそはら)町、大津(おおつ)町、関南(せきなみ)村、関本(せきもと)村、平潟(ひらかた)村、南中郷(みなみなかごう)村の6市町村が合併・市制施行しました。当初は、茨城市とすることになっていましたが、県庁所在地と誤解を受けるとの理由から県内の他の市町村からの反対により、同日付けで北茨城市に改称しました。	4
11	2017年(平成29年)時点では、平均気温が最も低いのは <b>1月</b> で4.5℃です。2月は5.1℃、12月は5.7℃、3月は6.3℃となっており、2017年(平成29年)の最低気温は1月に-4.0℃が観測されています。	2
12	神岡上(かみおかかみ)古墳群第3号墳からは、 <b>たくさんの</b> 遺物が出土しました。中でも7個の鈴を付けた七鈴鏡(しちれいきょう)は、鏝上がり(いあがり)が良好で保存状態もよく、良品です。神岡上第3号墳は、直径約33メートルの円墳で、全長8.4メートルの横穴式石室をもっています。古墳は発掘後、 <b>北茨城浄化センター</b> となりました。	4
13	第二次世界大戦時、風船爆弾の基地は北茨城市 <b>大津(おおつ)町</b> 、千葉県一宮(いちのみや)町、福島県いわき市の三か所に置かれていましたが、大津基地は配置人員1,500人と最大の規模でした。	3
14	北茨城市は <b>北緯36.48度</b> 、 <b>東経140.45度</b> に位置しています。	1
15	<b>浄蓮寺(じょうれんじ)</b> は、慈覚大師(じかくだいし)の開基(かいき)とされ、境内の愛染堂(あいぜんどう)には、愛染明王(あいぜんみょうおう)が安置されています。浄蓮寺の敷地内にある浄蓮寺溪谷の苔むす岩に彫られた33体の観音像は江戸時代のものといわれています。	3
16	東廻り航路とは日本海沿岸の港を起点とし、津軽海峡から太平洋へ抜け江戸へ至る航路です。1670年(寛文10年)、河村瑞賢(かわむら ずいけん)が幕府の命を受け整備を完了しました。 <b>平潟(ひらかた)港</b> は、この航路の寄港地に指定され、商港として繁栄しました。	2
17	北茨城産の蛙目(がいろめ)粘土と軟質粘土を利用して製作され、当市に日本美術院を設立した近代日本画家の岡倉天心(おかくら てんしん)と名づけ、湯呑みや花瓶、照明器具やオブジェ等様々な作品が生み出されています。	4
18	水沼ダムは、 <b>華川(はなかわ)町</b> にあります。水沼ダムは磯原工業団地で必要とする工業用水を確保するため、花園川の上流に1966年(昭和41年)6月に完成した、県内で初めての多目的ダムです。花園川の洪水調節のほか、上下道用工業用水、かんがい用水を供給しており、水力発電用水にも利用されています。花園花貫県立自然公園内に位置し、四季を通じて様々な魚類が棲み、多くの釣り人が訪れます。	1
19	からくり時計は磯原出身の童謡詩人・野口雨情(のぐち うじょう)が作詞した「シャボン玉」「七つの子」「青い目の人形」の3曲を1日 <b>7回</b> 演奏しています。時計塔は、岡倉天心(おかくら てんしん)が思案にふけた庵、六角堂をかたどっています。演奏時間は、9時・12時・14時・16時・17時・18時・19時に3分間演奏します。	3
20	常磐炭田(じょうばんたん でん)は、20世紀前半に、福島県富岡町から茨城県日立市までに広がっていた炭田で北茨城市でも <b>たくさんの石炭</b> が採れました。	2
21	5つの浦が開け、太平洋の白波が砕け散る <b>五浦(いづら)海岸</b> のその雄大な姿は、訪れる人々に深い感銘を与えます。また、五浦海岸は日本の音風景100選、日本の渚100選に選定されています。	4
22	1956年(昭和31年)5月に市制が執行されて初めての市長選挙が行われ、投票率は <b>76.24%</b> パーセントでした。北茨城市の初代市長には片寄富七(かたよせ とみしち)氏が就任しました。	1
23	沼田主計(ぬまた かずえ)は、今から300年ほど前に、中郷の松井に生まれました。松井は標高40～50メートルの台地で川がありませんでした。主計は、水不足解消と新田開発を目的として、大北川から用水堀開削を計画し、完成させました。十石堀(じゅっこくぼり)は、歴史的・技術的・社会的価値のあるかんがい施設として2019年9月4日に茨城県初の世界かんがい施設遺産に登録されました。	2
24	北茨城市の魚に指定されている魚は、「 <b>アンコウ</b> 」です。北茨城市は、大津(おおつ)・平潟(ひらかた)の漁港を有し、アンコウの水揚げ港として全国的にも知られています。これらのことから、本市の観光と水産業の振興及び市民が魚についてより親しみを深めるために市の魚として制定しました。	3
25	北茨城市の花園溪谷(はなぞのけいこく)の上流、定波(さだなみ)地区は標高800メートルくらいの深い山です。ここには、原生林が残っており、大きな <b>フナ</b> や <b>ミズナラ</b> を見ることができます。	4